

## JIS 化作業の確認事項

### ① JIS 作成時の図について

Q : ISO 原文の図を JIS へ引用可能か？

A : 引用は可能です。ただし、JIS の図は、第 3 角法で描く必要があるので引用する ISO の図が第 3 角法で描かれていればそのまま引用できますが、引用する図が第 1 角法で描かれている場合には、図の修正を行う必要があります。

Q : 寸法表記は ISO ものもでよいか？

A : 寸法表記の仕方は基本的には、JIS も ISO も同じですが細かなところで異なっているところがありますので引用する ISO の図がどのような寸法表記の仕方になっているかで判断しなければいけません。

### ② 表について

Q : 表の書式は、特に問わないのか？

A : 表の書式については、JISZ8301 : 2005 に若干の記述がありますが表の作成は、JDT2005 の表の作成から表を作ってください。(JDT2005 の表作成で作った表であれば JIS のフォーマットに沿ったのができます)

### ③ 文字のフォント

Q : JIS の作成における文字フォントの制約は？

A : JIS 作成における文字フォントは、細かな決まりごとがありますがおおよそ次と通りです。

1.本文 字体：明朝体、文字サイズ：10pt

規格名称、タイトルなどの強調文字：ゴシック体 文字サイズ：10pt

英数字：タイムズニューロマン 文字サイズ：10pt

2.表 表中の文字：明朝体 文字サイズ：9 pt

強調文字：ゴシック体 文字サイズ：9 pt

英数字：タイムズニューロマン 文字サイズ：9 pt

### ④ 対比表のフォーマット

Q : 対比表のフォーマットの有無

A : JDT2005 で対応国際規格がある JIS の作成で必要事項を書き込めば対比表は、自動的に作成されます。

### ⑤ 材料の表記

Q : 材料の表記が ISO と日本で異なる場合の表記は？

A : 日本の表記を ISO に合わせてもとくに混乱を招かないのであれば材料表記は ISO に合わせる。ISO に合わせると混乱を招くのであれば材料表記は ISO にあわせない。  
この場合、対比表で材料表記が ISO とあっていない理由を述べ今後 ISO へどのような働きかけるかなどの対策も述べる必要があります。

Q : 材料の基本記号を規定した JIS の有無？

A: 材料の基本記号といってもいろいろな分野のものがあるので JIS で規定しているものもあれば規定していないものもあります。詳細は各団体に確認しなければいけません。